

供血者から始まる遡及調査実施状況

平成27年9月30日現在

	平成23年4月1日 ～ 平成24年3月31日			平成24年4月1日 ～ 平成25年3月31日			平成25年4月1日 ～ 平成26年3月31日			平成26年4月1日 ～ 平成27年3月31日			平成27年4月1日 ^{*1} ～ 平成27年9月30日		
	HBV	HCV	HIV	HBV	HCV	HIV									

(1) 遠及調査実施内容

① 調査の対象とした献血件数

1) 総数	2,491			10,997			9,016			6,004			1,909		
2) 個別件数	2,407	59	25	10,892	60	45	8,932	58	26	5,917	57	30	1,872	23	14

② 上記①のうち、調査の対象とした輸血用血液製剤の本数

1) 総数	2,749			11,428			9,854			6,666			2,137		
2) 個別本数	2,659	67	23	11,313	61	54	9,752	69	33	6,557	72	37	2,094	26	17

③ 上記②のうち、医療機関に情報提供を行った本数

1) 総数	2,749			11,428			9,854			6,666			1,804		
2) 個別本数	2,659	67	23	11,313	61	54	9,752	69	33	6,557	72	37	1,768	22	14

(2) 個別NAT関連情報

① 遠及調査実施対象[(1)①]のうち、個別NATの結果が陽性となった献血件数

1) 総数	116			149			96			28			8		
2) 個別件数	116	0	0	149	0	0	94	1	1	28	0	0	8	0	0

② 上記①のうち、医療機関へ供給された製剤に関する報告件数

1) 使用された本数	119	0	0	146	0	0	93	1	2	31	0	0	9	0	0
2) 医療機関調査中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3) 院内で廃棄	3	0	0	6	0	0	4	0	0	0	0	0	1	0	0
4) 不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
計	122	0	0	152	0	0	97	1	2	32	0	0	10	0	0

③ 上記②のうち、受血者情報が判明した件数

1) 陽転事例	6 ^{*2}	0	0	5	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0
2) 非陽転事例	46	0	0	59	0	0	34	0	1	14	0	0	5	0	0
3) 死亡	56	0	0	56	0	0	45	0	0	11	0	0	3	0	0
4) 退院・未検査	7	0	0	23	0	0	11	0	0	6	0	0	1	0	0
5) 陽性だが輸血前不明	4	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
計	119	0	0	146	0	0	93	1	2	31	0	0	9	0	0

④ 上記③のうち、医薬品副作用感染症報告を行った件数

報告件数	4	0	0	5	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

*1 速報値

*2 6例中2例はHBs抗体のみの陽転であり、輸血血液からの移行抗体等と医療機関において判断された事例である。

※血液製剤等に係る遠及調査ガイドライン(平成26年7月30日一部改正)に基づく遠及調査対応基準を適用。

HBV : HBs抗原CLEIA法確認試験（中和試験）又は個別NAT陽性の場合は遠及調査を行う。

: HBc抗体CLEIA法陽転の場合は遠及調査を行う。

HCV : HCV抗体CLEIA法陽転の血液及び前回の血液について個別NATを実施し、いずれかが陽性の場合は遠及調査を行う。

HIV : HIV抗体CLEIA法で陽転し、確認試験(WB法)又は個別NAT陽性の場合は遠及調査を行う。

共通 : スクリーニングNAT陽転の場合は遠及調査を行う。

感染症報告事例のまとめについて

(平成 26 年 11 月～平成 27 年 10 月報告分)

1 平成 27 年 11 月～平成 27 年 10 月に報告（新規及び追加）があった感染症報告（疑い事例を含む）は、輸血用血液製剤 73 件である。

輸血用血液製剤の内訳は、

- (1) HBV 感染報告事例 : 11 件
- (2) HCV 感染報告事例 : 29 件
- (3) HIV 感染報告事例 : 1 件
- (4) その他の感染症報告例 : 32 件 (HAV 1 件、HEV 4 件、CMV 7 件、細菌 20 件)

2 HBV 感染報告事例

(1) 輸血後に抗体検査等が陽性であった事例は 11 件。

(2) 上記 (1) のうち、献血者の保管検体の個別 NAT 陽性の事例は 0 件。

(3) 劇症化又は輸血後に死亡（原疾患又は他の原因による死亡を除く）したとの報告を受けた事例は 0 件。

3 HCV 感染報告事例

(1) 輸血後に抗体検査等が陽性であった事例は 29 件。

(2) 上記 (1) のうち、献血者の保管検体の個別 NAT 陽性の事例は 0 件。

(3) 劇症化又は輸血後に死亡（原疾患又は他の原因による死亡を除く）したとの報告を受けた事例は 0 件。

4 HIV 感染報告事例

(1) 輸血後に抗体検査等が陽性であった事例は 1 件。

(2) 上記 (1) のうち、献血者の保管検体の個別 NAT 陽性の事例は 0 件。

(3) 輸血後に死亡（原疾患又は他の原因による死亡を除く）したとの報告を受けた事例は 0 件。

5 その他の感染症報告事例

(1) B 型肝炎及び C 型肝炎以外の肝炎ウイルス報告事例は 5 件 (A 型肝炎 1 件、E 型肝炎 4 件)。

(2) 細菌等感染報告事例において、当該輸血用血液の使用済みバッグを用いた無菌試験が陽性事例は 1 件。

(3) 上記 (2) のうち、輸血後に死亡（原疾患又は他の原因による死亡を除く）したとの報告を受けた事例は 0 件。

献血件数及びH I V抗体・核酸増幅検査陽性件数

年	献血件数 (検査実施数)	陽性件数 () 内女性 [] 内核酸増幅検査のみ陽性	10万件 当たり
1987年 (昭和 62年)	8,217,340	11(1)	0.134
1988年 (昭和 63年)	7,974,147	9(1)	0.113
1989年 (平成 元年)	7,876,682	13(1)	0.165
1990年 (平成 2年)	7,743,475	26(6)	0.336
1991年 (平成 3年)	8,071,937	29(4)	0.359
1992年 (平成 4年)	7,710,693	34(7)	0.441
1993年 (平成 5年)	7,205,514	35(5)	0.486
1994年 (平成 6年)	6,610,484	36(5)	0.545
1995年 (平成 7年)	6,298,706	46(9)	0.730
1996年 (平成 8年)	6,039,394	46(5)	0.762
1997年 (平成 9年)	5,998,760	54(5)	0.900
1998年 (平成 10年)	6,137,378	56(4)	0.912
1999年 (平成 11年)	6,139,205	64(6)	1.042
2000年 (平成 12年)	5,877,971	67(4) [3]	1.140
2001年 (平成 13年)	5,774,269	79(1) [1]	1.368
2002年 (平成 14年)	5,784,101	82(5) [2]	1.418
2003年 (平成 15年)	5,621,096	87(8) [2]	1.548
2004年 (平成 16年)	5,473,140	92(4) [2]	1.681
2005年 (平成 17年)	5,320,602	78(3) [2]	1.466
2006年 (平成 18年)	4,987,857	87(5) [1]	1.744
2007年 (平成 19年)	4,939,550	102(3) [6]	2.065
2008年 (平成 20年)	5,077,238	107(3) [0]	2.107
2009年 (平成 21年)	5,287,101	102(6) [2]	1.929
2010年 (平成 22年)	5,318,586	86(3) [1]	1.617
2011年 (平成 23年)	5,252,182	89(8) [3]	1.695
2012年 (平成 24年)	5,271,103	68(6) [1]	1.290
2013年 (平成 25年)	5,205,819	63(2) [1]	1.210
2014年 (平成 26年)	4,999,127	62(3) [0]	1.240
2015年 (平成 27年) (1~9月)	3,670,194 (速報値)	35(0) [0]	0.954

(注1) ・ 昭和61年は、年中途から実施したことなどから、3,146,940件、うち、陽性件数11件（女性0）となっている。

(注2) ・ 抗体検査及び核酸増幅検査陽性の血液は廃棄され、製剤には使用されない。
・ 核酸増幅検査については、平成11年10月より全国的に実施している。

(注3) ・ 平成27年は、1月～9月の速報値で集計している。